パッション

第13号

2000

特集：21世紀の私たちの文化

日の出

四日市市文化協会

DAISO

大宗建設株式会社

〒510-0044　三重県四日市市相生町1番1号
TEL.(0593)53-6661　FAX.(0593)54-2226

人と、街と、空間の、
ここちよい“響き”を大切にします。

私たち大宗建設は、確かな技術と
時代に先立つ感性を基本にして、
人と、街と、空間の、ここちよい“響き”を大切にする
スペシャリスト企業でありたいと願ってます。

二十一世紀を 共に 豊かに生きるために

四日市市文化協会　広報部

「住むまちから　住み続けたくなるまちへ」……これは、皆さんご承知の四日市市都市計画マスタープランの、キャッチフレーズです。

二十一世紀を目前にして、子供達に夢を、大人には活力を、そして高齢者には平安を与えてくれる、文化都市四日市をどのようにして創り出すか。

そして、そのために文化協会は、どのような役割を果すべきか。

これらのことを共に考え、意見を出し合い、今後の協働してゆく方向を求める基礎資料に役立てたいと、文化協会内外の方々に、アンケートによる調査と提案をお願いしたところ、協会員四十四名、関連の方々十二名、合計で五十六名のご協力を得ました。

この「パッション」十三号は、特集『二十一世紀の私たちの文化』とし、そのアンケートの内容を要約したものをベースにして、それにテーマに沿ってインタビューした幾人かの方々の、ご高見を併せて編集いたしました。

文化協会も、結成当時からの理念である「楽しい文化活動のできる　まちづくり」を目指して、一層の精進を続けてゆきたいと願っております。

あなたの想いを実現させるために、そして共に豊かに生きるために、協会を活用してください。

〔塚田〕

誌名の「パッション」は、燃えるような”情熱”の意味です。

＜目　次＞

特集記事
二十一世紀を 共に 豊かに生きるために（広報部） … 1
二十一世紀を展望・アンケート要約（設問-1）…… 2
二十一世紀を展望・アンケート要約（設問-1、2） …… 3
二十一世紀を展望・アンケート要約（設問-2）…… 4
二十一世紀を展望・アンケート要約（設問-3） …… 5〜7
市議会スポ・文議連代表との懇談会から（広報部） …… 8〜9
市民が肌で感じる文化都市に（石田昇三氏に聞く） …… 10
広く市民に知ってもらうために（森紀元氏に聞く） … 11
楽しく学べる町づくり（増田喜昭氏に聞く） …… 12〜13
一般記事
現代押し花アート“みえ”（竹内美慧子さん訪問）…… 14
四日市愛石会（八重田康幸氏訪問） …… 15
新年度の役員紹介 …… 16
事務局からのお願い …… 7

＜写真提供＞

表紙 …… 時村茂雄氏（四日市写真協会）
P2,3,4,5,13上……中西一夫氏（日本合成ゴム写真部、鈴鹿写交会）
P14……竹内美慧子さん
P15……八重田康幸氏
その他……広報部

四日市文化協会に関するお問い合わせや、入会お申し込みについては、文化協会事務局へご連絡ください。

〒510-0057
四日市市昌栄町21-10　市民生活課分室
TEL・FAX 0593-51-3729
開局時間…火曜日から金曜日までの午後1時〜5時

二十一世紀を展望・アンケート要約

設問―一…二十一世紀に「文化都市四日市」を目指すためには、どんな部分に力を入れるべきだとお考えですか。

回答第一位…二十八名

「市民に、優れた芸術文化を安価で鑑賞する機会を、どんどん増やすべきだと思う。」

回答第二位…二十五名

「優れた芸術文化の鑑賞や、市民の文化創造活動の発表の場を、充実させるためのホールなどの施設整備を、早急に行うべきだと思う。」

回答第三位…二十三名

「歴史的価値の高い郷土の文化（文化財や伝統文化など）を保護し、市民がそれにふれる機会を充実させるとよいと思う。」

回答第四位…十八名

「国の内外を問わず、他都市の文化活動団体との交流を盛んにして、本市の文化活動に、刺激を与えるとよいと思う。」

回答第五位…十五名

「市民の文化活動を活性化させるための研修や、会場などを含めた訓練機関を充実させる必要があると思う。」

回答同数第五位…十五名

「音楽ホールや図書館を充実させたり、美術館や子ども博物館などの施設を整備するべきだと思う。」

回答第六位…十名

「文化施設も結構だが、JR駅周辺や港を中心とした、まちづくりを進め、街なみなどを整えて、文化性豊かな都市づくりを図るべきだと思う。」

回答第七位…八名

「市民への文化情報を提供する機会を充実させ、インターネットなどのメディアを活用するべきだと思う。」

回答同数第七位…八名

「芸術系の大学や専門学校を誘致して文化の底上げを図るとよいと思う。」

その他（十四名分の要約）

項目としては、施設…四、独自性…三、協議…二、育成…二、自立…二、資金…一、行事…一の順になり、それをキーワードで繋ぐと、

『文化活動の基本的な事柄を、多くの市民で充分に話し合うことが必要。

子供に文化の芽を出させ、育ててゆく環境をつくることと、文化活動を活性化させる設備の整った施設（例・総合文化センター、小ホール）を作る。

各々、指導的な立場にある人の、より一層の成長を図り、多くの人達が芸術、文化の継承、発展に協力する。

活動資金は大切であるが、行政への依存に甘えず、全般に行政への提言も大いに必要。

市民に親しまれている行事（薪能など）は継続していってほしい。

地元の文化振興に寄与した先人（有名・無名不問）を発掘・紹介し、現代の文化事業に生かすと共に、四日市独自の文化の創造を奨励し、四日市から周辺、全国、更には世界に向けて豊かな文化の発信をしてゆきたい。』

（伴野・塚田）

設問―二…あなたご自身が主としてたずさわる文化活動を、二十一世紀にはどんなものにしていきたいとお考えですか。

回答第一位…二十二名

「広く市民の賛同を得て同好者を増やし、レベルアップを図りながら、三重県下を代表するような活動に発展させたい。」

回答第二位…二十二名

「自分たちの活動を発展させることは勿論だが、市内の他の文化団体の人たちとも協力し合って、四日市市の文化の向上に貢献したい。」

回答第三位…十七名

「何はともあれ、年齢的な偏りから脱却し、特に若者層の加入を促進して、より活動を発展させたい。」

回答第四位…十五名

「自分たちの活動を通して、ボランティアなどNPO活動に役立ちたい。」

回答第五位…十名

「人数的には増加を望まず、内容面をより充実させて、他の模範となるような活動にしていきたい。」

回答第六位…六名

「協会内の他のジャンルの活動との連携を深めると共に、現在の活動内容の一新を図りたい」

回答第七位

…五名

「他県の仲間との交流を深め、全国大会や海外での公演・展示会などへの参加を含め、より活発な活動を展開したい」

その他（九人の要点）

「町の要所に彫刻を建て、芸術の町にしたい。」（美術Ⅱ）

「若く有望な人材を、発掘・育成してゆきたい。」（洋楽Ⅱ）

「ミュージック・カーニバルは良い企画だが、もっと新鮮な構成も必要と思う。」（洋楽Ⅱ）

「近隣自治体の文化団体と、交流会や共同展示会などを催したい。」（生活文化Ⅱ）

「まず市民に親しまれ、将来は世界に通用する文化レベルに。」（総合）

「退廃文化を無くし、未来を担う子供達に豊かな良質の文化環境を提供したい。」（会員外）

「全般に高齢化が進む中で、将来のためにエゴ意識やセクト主義を越えた、協力体制作りが肝要。」（会員外）

「連携と相互啓発してゆける組織にするには、欲得抜きでまとめるリーダーが必要。」（会員外）

「どのジャンルにしても、自立活動が基本であるが、その支援母体作りも必要と思う。」（会員外）〔塚田〕

設問―三…「楽しい文化活動のできる　まちづくり」のために、文化協会のやってきたことの中で、特に評価できることは何ですか。また、将来に向かって、何をすれば良いとお考えですか。そして、あなたの文化協会への期待はどんなことですか。

《良い評価》

市民文化祭開催…五、文化活動のネットワーク作り…四、文化情報の提供…四、異なったジャンルの交流…二。

《悪い評価》

会員の連帯意識が薄い…五、行事は多いが内容が乏しい…三、伝統文化の軽視…一、リーダーシップ不足…一、評価できるものは無い…一。

《提　言》

会員をもっと増やすべきだ…五、もっと助け合いを…三、協会としての目的意識を明確に…二、内容をもっと充実してほしい…二、隣の県との合同イベントを増やしたら…一。

《期　待》

文化情報の提供を…六、他市や海外ともっと交流を…四、市民の文化活動を支援する団体に…三、交流の輪を更に広げて…三、生きがいを感ずるような文化活動を…三、四日市の文化創造のプランメーカーに…二、後継者育成…二、役員の若返り…二、

市民文化団体と行政との接点に…二、この他にも十三名の方から研究会、シンポジューム、市民文化祭の市民実行委員会による実施、経済的自立、NPO活動化などへの期待が寄せられています。

以上の設問―三に対する回答をまとめますと、

ジャンルを越えた文化交流や広報活動を評価する声の中で

『この六年間、各団体を取りまとめて横の連携をつくることの努力や、市民文化祭の実施を通して、ジャンルを越えた文化交流を実現させたことを評価する意見が、多く出ていました。

また、広報部の発行する「パッション」「四日市の文化イベント」や文化団体を紹介した「四日市のオケイコ」は好評でした。』

反省の中に、主催事業の改善や組織の充実を望む意見が多い

『年間にいくつか実施される主催事業の中身についての、魅力が乏しいという手厳しい批判とともに、躍動感や深まりのある内容を期待する声もありましたが、やはりこれは、文化協会の目標をより明確に打ち出すことで、解決できそうに思えます。』

『組織の充実についても真剣に考える人が多くみえました。その主なものには会員意識の欠如です。末端会員には、協会への関心がほとんどないことを指摘する人が多く、そのことは今後へのおおきな課題であると思われます。部門間の協力も期待されています。』

楽しい文化活動への結集と意見交換を十分にするべきこと

『市内で活動する文化団体と行政との接点、文化団体の意見の統合、文化活動をする人達の力の結集に努力するべきだとの声。市民の文化活動の底上げをするためのリーダーシップをとることが大切であり、ある時はプランメーカーとして、新しい文化イベントなどにも積極的な取り組みを期待する声が多く聞かれました。』

『また、協会や加盟団体の活動をより多くの市民に知らせるための手段に、マスメディアの活用なども必要な時代なのでしょう。』

アンケートを通しての編集部員の感想をひとこと

『そこで、文化協会の目的を明確にするために、いまいちど真剣に討議すべき時がきたようです。協会そのものの体質改善を始め、相互に啓発し合える組織となるよう、これを機会に原点に戻っての真剣な議論を望む声を、無視することなく受止めるべきでしょう。

役員の世代交代や若返りなども考えながら、楽しい文化活動をつくり出すことが大切であり、それには他のジャンルの活動にも理解と協力を、喜んでできる組織にするべきだとの感想を強く持ちながら、アンケートの集計を終えました。』

〔中島・西村〕

事務局からのお願い

プレゼント・チケットにご協力ください。何枚でも結構です。障害者の方々と、日々介助をされているご家族や、ボランティアの方々を、ご一緒にご招待したいのです。ぜひチケットを事務局までご送付ください。

〒510-0057
四日市市昌栄町21-10
市民生活課分室
四日市市文化協会事務局

市議会スポ・文議連代表との懇談会から

市議会議員の方々で結成しておられる、スポーツ・文化振興議員連盟の、文化部門の代表日置記平議員（長）、藤原まゆみ議員、水谷正美議員と、広報部の塚田盛久、西村邦彦、石松延、大川美治とが、五月二十九日に市議会応接室で、懇談する機会を得ましたので、その要旨をお伝えします。

……

司会者（塚田）「本日はご多忙の中この会をセットして頂き有り難うございます。ご案内のように二十一世紀の文化都市四日市を目指すため、また文化協会がそれに役立つために、率直なご意見を頂ければ幸いです。」

日置「文化担当代表の日置と申します。議員の中には色々な文化活動に参加している方がみえますが、今日出席のお二人にも日頃のご意見や市民から聞いた声などを話して貰いたいと思います。」

水谷「先日、『ばんこの里会館』へ行った時、見学者から古萬古のことを聞かれたのですが、それの展示が無く地元の作家も居なくて、残念な思いをしました。もっと郷土の文化を大切にしたいものです。それに四日市出身の方々を、もっとアピールするべきと思います。また来年は東海道の宿駅制度が敷かれて四百周年を迎えますので、市民参加のユニークなイベントなどを実現したいですね。」

日置「私が以前、市文化振興財団の理事をしていた時、ドイツから有名なオーケストラを招いて演奏会をしたのですが、お客が入らなくて赤字を出してしまい、原因として関係者のPRの意識が極めて低かったことを反省しています。立派な催しがあっても、それを市民が知らない……文化協会の行事にも、それが有るのでは、ないでしょうか。」

司会者「おっしゃる通り、文化協会の大きな課題の一つです」

藤原「効果的なPRの方法として、文化協会のホームページを開設して頂きたいと思います。文化協会って?…も一目で分かりますし、若者にも浸透させてほしいし、いつでも参加できる案内になりますし、全国ネットでPR出来ますし、ぜひお勧めします。」

水谷「今テレビで人気の『なんでも鑑定団』、あれを四日市に招いて、やれば結構貴重な物、面白い物も出て来そうですね。日本中に知れ渡るし、そんなアイディアも如何ですか。」

司会者「いいですね。文化協会も視野をもっと広げる必要があります。」

日置「みんなそれぞれに立派な意見を持っておられると思いますので、もっと多くの方々と話し合う『四日市の文化を語る交流の場』を作りたいと思いますね。新しい議員からも独創的な意見が聞けるでしょうし、本音で自由に語り合えば、本物の素晴らしいものが生まれてきますよ。楽しみですね。

文化協会が、市民文化祭を『市民文化フェスティバル』として、広く市民参加を呼び掛け、それを協会が支援してゆくという姿勢には同感しますが、脱皮するのには色々と大変なこともあると思いますので、協会で充分に話し合って、前進して行ってください。」

司会者「色々と有り難うございました。今日の貴重なご意見を、ぜひ生かしてゆきたいと存じます。」

〔もっと沢山の会話がありましたが、割愛させて貰いました。

石松・記、塚田・補筆〕

市民が肌で感じる文化都市に

国際トンボ学会会員　四日市市文化財保護審議会会長
石田昇三さんに聞く

昨年の秋刊行された「原色日本トンボ幼虫成虫大図鑑」（北海道大学図書刊行会）の執筆者代表で、かつて文化協会の設立に関わって頂いた、石田昇三さん（沖の島町にお住まい）に、満六年を迎えた文化協会への一言、提言をお願いしました。

「この種の集まりでは、あらゆるものが文化であることを、お互いの寛容さで認め合うことが第一ではないか。確かに趣味が多様化しているが」。私たちは、文化協会を立ち上げた時の気持ちに戻ることが必要と思う。

「特に市民文化祭には関わり過ぎで、そのため本来の文化協会の目的である、市民文化の振興が忘れられているように思える。

だから文化協会に入っていても、自分たちの活動面にプラスに結び付かないので、大きな渦の中で埋没する結果となってしまう。

もっと会員の働きぶりを公平な目で認め合い、他の人の意見に素直に耳を傾けることができれば、会員同士の信頼の基盤は揺るぎ無いものになろう。

今の文化協会には主体性が見られない。理事会などで、もっと基本的な話し合いを、充分に行うべきではないか。

今後の課題としては、行政が『四日市は文化都市だ』と言うが、そこに住む市民の全てが文化都市を肌で感じなければ、真の文化都市は生まれない。これからの文化協会に対しては、柔軟な思考で、本当の文化とは何だということを議論し、真の文化都市への脱皮に貢献できる組織へ、生まれ変わってほしいと望みたい。」（西村・塚田）

石井アカデミー・ド・バレエ

教　師　石井　正人　　石井　昭子
　　石井　亨　　石井　亜希子
稽古場　四日市市相生町 大宗ビル4F
　　四日市市松本　ときわ文化センター
　　四日市市一番街　中日文化センター
　　津市センターパレス　中日文化センター
　　鈴鹿市　白子スイミングスクール
※成人初心者クラス新設（日曜）TEL・FAX（0593）52-9058

広く市民に知ってもらうために

（株）シー・ティー・ワイ　社長
森　紀元（みちもと）さんに聞く

地域の情報拠点ＣＴＹを創設し、その代表としてエネルギッシュにご活躍されている森　紀元さんを、本社にお訪ねしました。

「四日市は決して文化不毛の町でなく、素晴らしい町ですよ。」と前置きされ、

「今の時代にお金や物にこだわらず、豊かな人生を求める点で、文化協会の役割は大きいと思いますが、まだまだ協会や会員の活動が、殆ど市民の皆さんに知られていないのが残念です」

「私どもＣＴＹも十年目を迎え、

大重建設

〒510-0826　四日市市赤堀1丁目1番16号
電話〈0593〉52-8287
　　53-2031
FAX〈0593〉51-7795

思いでいろいろ…
各種発表会・結婚式など

ビデオ・写真・CD セコ
〒511-0102 桑名郡多度町香取21
☎(0594)48-3248

従来の十チャンネルに、この四月から二つのチャンネルを加えて、地域の日々の出来事や新鮮な生活情報などの提供に努めています」

「今後はぜひ文化協会アワー（仮）なる番組も作りたいですね。それに文化協会でインターネットのホームページを設けてもらえば、それをうちのケーブルに接続も出来ますし、出来る限りのお手伝いをしたいと思います」

と、きっぱりとお話しくださいました。

この他にも、四日市出身の有名人を、もっと多く会員になってもらう必要性など、四日市を住み良い楽しい町にしてゆくための協会活動へのヒントを頂きました。

二十一世紀の「文化都市四日市」をつくる大切なリーダーのお一人として、森さんに大きな期待を託したいと思いました。

〔石松・塚田〕

楽しく学べる町づくり

子どもの本専門店メリーゴーランドのオーナー

増田　喜昭さんに聞く

子どもの本専門店のご主人は、子どもの心と本にくわしくて世話好き。そのひげのおっさんこと増田喜昭さんに伺いました。

子どもが自由に出入りでき好き勝手に本棚から本を引っ張り出して読む、書店というより図書館の児童室といった感じに……を店のポリシーとして持つ。

「人を育てることが文化だと思います」と開口一番。

「ぼくは、この町で育って楽しかったと言える子ども達であふれる、四日市であって欲しいと思います。」

増田さんは毎月の読書会、紙芝居、絵本塾、講演会などを精力的に開催しておられる。

今では毎年のように来てくれる灰谷健次郎さんや河合隼雄さんらのような豪華な講師陣も、二十年前の四日市では、いまひとつ理解して貰えなかった……と振り返る。

「当時、来ていた十才の子が、今では三十四歳の親父なんです。時間がかかったけど今ようやく、ぼくの考えを理解し協力してくれる人が、大勢集まってくれました。子どもは家庭だけでは育たない。町ぐるみで関心を持たないと……」

子どもたちに、二十一世紀への贈り物として、四日市に子ども博物館をつくります！NPOで運営し、現在十三名の熱心な実行委員によって会員を募集中です」と熱い想いを話してくださいました。

声援の輪が大きく広がることを祈り、まさに四日市を変える文化の開拓者のお一人に脱帽。

〔石松・塚田〕

胃腸科・消化器科・肛門科・外科

石田胃腸科病院

院長　石田克久

四日市市朝日町1-15（JR四日市駅前）☎〈0593〉53-3313㈹

●診療時間／AM9:00～PM1:00　PM2:00～PM7:00

●休診日／日・祭日・土曜午後

日本民踊		創作舞踊	
恒美会	弥栄美会	紀之元流	芝流
ふみづき会	あくら会	常磐流	西川流
四日市やよい民踊会	九重会	深山流	貴山流
四日市いづみ民踊会	美玲会	瑞穂流	山吹流
福峰会	不二乃会	大河流	美文会
ささ菊会			

一般記事

訪問レポート①

現代押し花アート"みえ"

零れるように咲き競ったお庭の花に迎えられ、押し花アートの講師をなさっている竹内美慧子さんをお訪ねしました。

これ押し花ですか？

「ええ、全部葉や花です。御在所岳と二見ヶ浦と三重のマークを入れたこの作品は、J・F・F・99（一九九九年に四日市ドームで開催され

た、ジャパン・フラワー・フェスティバル）に出品したものです」

押し花アートを始められた動機は？

「子育てが終り、ライフ・ワークになにか、と始めたらすっかり面白くなって……」

押し花に出会ってから十年余、東京にある「日本レミコ押し花学院」の全課程を修了され、実績を重ねられた竹内さんの数々の作品を拝見しました。

高い芸術性と緻密な作業に驚き、また、東京で学んだ当時のスケッチや作品を見せて頂き、豊かな感性と探究心を持ったお人柄に、すっかり魅せられてしまいました。

生徒さんに囲まれ「楽しく教室を開いています。あなたも一つ作ってみませんか…」と、手ほどきを受けることになりました。

数えきれない程の押し花は花別、色別に丁寧に整理され

日本料理 みな水
近鉄四日市駅前農協ビル地下1階
〒510-0067　四日市市浜田町4-20
TEL(0593)51-1745
FAX(0593)51-2207

ていた。その中からまるで魔法のように選んでくださり、楽しく教わるひとときを過ごしました。

花の心と美しさを知る竹内さんは、季節の巡りを、何よりも心待ちしておられるそうです。〔石松〕

訪問レポート②

四日市愛石会

生活文化Ⅱの部門で活躍されている、四日市愛石会代表の八重田康幸さんのお宅をお訪ねして、

菊富士、道祖神、草庵などと命名された数々の作品の説明を伺いながら、思わず見入ってしまいました。

「愛石家が求める石は、形や色に特徴があります。これ何に見えます？人によって見方も違いますし……」なるほど。

「愛石会の会員の方と、員弁川、愛知川、揖斐川などに採石に行きますが、帰る時はリュックが重くてハハ……」

帰路の車中では、その日の採石の話でさぞ賑やかであろうかと、楽しく聞かせて頂きました。

文化協会については？

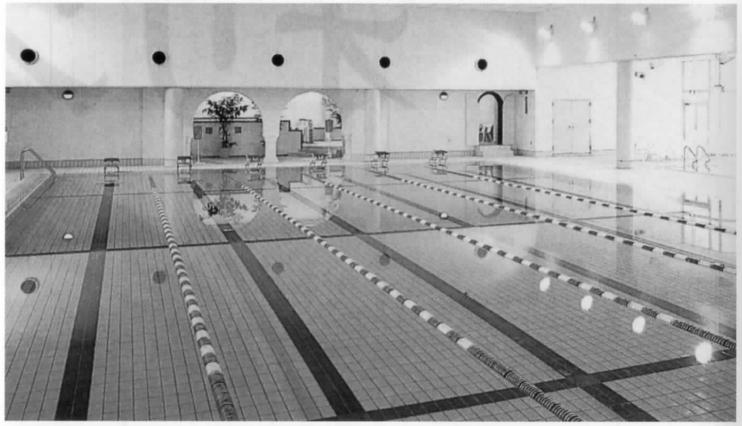
「年齢に関係なく元気な活動家が、もっと多く出てきて活気ある四日市の文化を築いていってほしい」とお話くださいました。

（若いころは、ウエスタン・バンドのベースを演奏されていたとか……。）〔石松〕

"人と街との情報空間" 参加型コミュニティサイト Mag-Net
印刷&インターネットで情報発信のお手伝い
国際標準規格　ISO9001　認証取得企業
水九印刷株式会社
■〒510-0013　四日市市富士町1番147号
■E-mail:admin@mizuku.co.jp
■TEL (0593) 32-6600
■FAX (0593) 32-6688

OLYMPIA

いつまでも
美しく 健康で
暮らしたい!!



●利用料なし
●夜11時まで営業
●月会費 4,500円より
●自慢の露天風呂
●テニスドームだから
日焼けなし!!

オリンピア スポーツクラブ

0593-32-4848

新年度役員紹介（平成12年～13年度）

名誉会長　石田 克久
理事長　木村 道山
副理事長　塚田 盛久　西村 邦彦
常務理事兼事務局長　伊藤 巳代次
常任理事　杉田 軍次　石井 冠山　大川 美治　杉本 千寿子
文芸部門理事　保地 桂水（俳句・短歌・川柳・散文・評論など）
美術Ⅰ部門理事　中口 晴舟（絵画・書道・写真・映像・グラフィックデザインなど）
美術Ⅱ部門理事　本郷 信彌（彫塑・工芸・スペースデザインなど）
邦楽部門理事　山路 泰洲（箏曲・三弦・尺八・吟剣詩舞・民謡・長唄・大正琴など）
洋楽Ⅰ部門理事　山田 みよ子（合唱・声楽・オペラなど）
洋楽Ⅲ部門理事　岩田 聖子（器楽・管弦楽・リトミックなど）
演劇部門理事　山本 淳子（現代演劇・ミュージカル・ニューウェイブなど）
舞踊Ⅰ部門理事　西川 司女（日本舞踊）
舞踊Ⅱ部門理事　常磐 扇舟（創作舞踊・民謡踊りなど）
舞踊Ⅲ部門理事　石井 亨（バレエ・洋舞・民俗舞踊など）
芸能部門理事　神尾 テンロ（歌謡・落語・演芸など）
生活文化Ⅰ部門理事　小林 春荘（華道・茶道・煎茶・盆石・香道など）
生活文化Ⅱ部門理事　原 源信（盆栽・菊花・園芸・水石・フラワーデザインなど）
伝統文化部門理事　赤井 重規（能楽・狂言・雅楽・浄瑠璃など）
趣味教養部門理事　井野 功雄（囲碁・将棋・カード・人形・着付け・芸術鑑賞など）
文化交流部門理事　石野 明子（国内外交流・ボランティア・太鼓・社交ダンスなど）
総合部門理事　藤田 正明（どのジャンルにも属さず活動する部門）

☆洋楽Ⅱ部門（吹奏楽・軽音楽・民俗音楽など）、
歴史文化部門（郷土史研究・文化財保存など）、
自然部門（天文・地質・動物・植物・都市環境など）の
理事は現在空席。

会計監査　森 紀元　水谷 達

パッション 第十三号
●発行　平成12年6月14日
●発行人　木村 道山
●編集　文化協会広報部
塚田盛久　西村邦彦　中島 一
石松 延　伴野節子　大川美治
●発行所　四日市市文化協会
〒510-0057
四日市市昌栄町21-10
市民生活課分室
電話・FAX
0593（51）3729

●原稿募集
会員および一般市民の原稿をお待ちしています。文芸、歴史、ご提言、情報のほか、写真、イラストなどもお寄せ下さい。

〈再生紙使用〉